

事務事業評価シート

事務事業コード	009600	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	鳥取市人権情報センター補助事業		所属名	総務部人権政策局 人権推進課

1. 基本情報

位置づけの 総合計画の	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	04	互いの人権を尊重する心豊かな社会づくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	1401	人権擁護の推進と人権意識の醸成				
施策の 目標の	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	その他
	「人権が尊重されている」と思う市民の割合(H26年度:36.7%)		0%	50%	運営方法	補助金交付
	企業研修派遣研修		210件	210件	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	市人権情報センター補助金		予算事業コード	01-03-01-14-03-10	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	(公財) 鳥取市人権情報センター
意図 (どのような状態にするために)	鳥取市人権情報センターの運営を安定させ、センターの特色である市民参画型の手法を取り入れながら、さまざまな人権問題に関する取組みを推進することにより、差別のない人権尊重都市鳥取市に寄与する。
手段 (どうするのか)	補助金を交付するとともに、連携して人権施策を推進する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		人権情報センター運営補助	人権情報センター運営補助	人権情報センター運営補助	人権情報センター運営補助	人権情報センター運営補助	
年度別実績		人権情報センター運営補助金の交付 ・情報の収集、提供 ・調査研究 ・啓発相談 ・市民活動等との協働及び支援 ・関係機関・団体等との連携及びネットワーク化	人権情報センター運営補助金の交付 ・情報の収集、提供 ・調査研究 ・啓発相談 ・市民活動等との協働及び支援 ・関係機関・団体等との連携及びネットワーク化	人権情報センター運営補助金の交付 ・情報の収集、提供 ・調査研究 ・啓発相談 ・市民活動等との協働及び支援 ・関係機関・団体等との連携及びネットワーク化	人権情報センター運営補助金の交付 ・情報の収集、提供 ・調査研究 ・啓発相談 ・市民活動等との協働及び支援 ・関係機関・団体等との連携及びネットワーク化	人権情報センター運営補助金の交付 ・情報の収集、提供 ・調査研究 ・啓発相談 ・市民活動等との協働及び支援 ・関係機関・団体等との連携及びネットワーク化	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	60,507	61,380	61,140	60,905	61,119	
	直接経費 A	29,631	30,122	30,122	30,122	30,300	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	29,631	30,122	30,122	30,122	30,300		
人件費 B	30,876	31,258	31,018	30,783	30,819		
職員数の内訳	正規職員	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	
	嘱託職員	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	賛助会員数	人	目標	400	400	400	400	400
				実績	269	258	245	234
2	(指標の説明)		目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
3	(指標の説明)		目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】政策推進・啓発係 0857-30-8071</p> <p>【10次総の施策体系】1401</p> <p>【予算計上の経過】</p> <p>予算事業別概要目次：当初予算・P14(人001)</p> <p>【事業の概要】</p> <p>公益財団法人鳥取市人権情報センターへの補助金。 センターの特色である市民参画型の手法を取り入れながら、さまざまな人権問題に関する取り組みを推進すると共に、人権問題の解決を図る市民運動に対する支援を行うことにより、差別のない人権尊重都市鳥取市の実現に寄与するもの。</p> <p>【事業の成果】</p> <p>(公財)鳥取市人権情報センターの事業</p> <ol style="list-style-type: none"> 情報の収集・提供事業 機関紙の発行、『情報ファイル』の作成、視聴覚教材等の貸し出し等 調査・研究事業 研究部会の開催(部落問題部会)、人権教育・保育部会、ヒューマンライツセミナー等 啓発・相談事業 「人権の集い」の開催、教育・啓発に関する相談への対応、人権相談への対応 市民活動等との協働及び支援事業 人権市民活動支援事業、人権市民団体等との協働 関係機関・団体等との連携及びネットワーク化 団体やネットワーク組織等への加入と連携、関係機関・団体と連携したパネル展の開催 <p>平成30年度 30,122千円 令和元年度 30,122千円 令和2年度 30,300千円</p> <p>【今後の課題・方向性】引き続き、センターと連携を図りながら、本市の人権啓発を推進していく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	賛助会員数	67%	65%	61%	59%	46%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	<p>人権情報センターの運営を支援し、連携を図りながら人権啓発の取組を行った。</p>
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>近年の景気の動向に加えコロナ禍による経済状況も重なり、会員数の減少を抑えることは難しい状況となった。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合		<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
	<p>担当課長の評価コメント</p> <p>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>賛助会員数の新規獲得による収入増に努めるとともに、今後も、より効果的な業務の企画運営の実施、積極的な事業成果の公表など、公益法人として社会的信用を高め、市と連携しながら人権啓発の推進を図るよう指導していく。</p>				

事務事業評価シート

事務事業コード	009701	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	学校人権教育推進事業(人権教育研究)		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	04	互いの人権を尊重する心豊かな社会づくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	1401	人権擁護の推進と人権意識の醸成				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「人権が尊重されている」と思う市民の割合(H26年度:36.7%)		0%	50%	運営方法	直営
	企業研修派遣研修		210件	210件	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	人権教育推進費(人権教育研究推進事業)		予算事業コード	01-09-04-03-05-13	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	指定校による実践的な研究
意図 (どのような状態にするために)	人権教育に関する指導方法等の改善及び充実に資する
手段 (どうするのか)	学校における人権教育を推進する

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		人権教育に関する指導方法等の改善及び充実に資する指定校による実践的な研究	人権教育に関する指導方法等の改善及び充実に資する指定校による実践的な研究	人権教育に関する指導方法等の改善及び充実に資する指定校による実践的な研究	人権教育に関する指導方法等の改善及び充実に資する指定校による実践的な研究	人権教育に関する指導方法等の改善及び充実に資する指定校による実践的な研究	人権教育に関する指導方法等の改善及び充実に資する指定校による実践的な研究
年度別実績	文部科学省委託事業として、2校で実践的な研究を行った。	文部科学省委託事業として、3校で実践的な研究を行った。	文部科学省委託事業として、5校で実践的な研究を行った。	文部科学省委託事業として、5校で実践的な研究を行った。	事業中止のため実施なし。		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	7,556	7,692	7,982	7,865	0	
	直接経費 A	337	373	739	675	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	337	373	737	675	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	2	0	0		
人件費 B	7,219	7,319	7,243	7,190	0		
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	1.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	人権教育研究指定校数	校	目標	0
	(指標の説明)		実績	0	3	5	5	0
2			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0
3			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】児童生徒支援係 0857-25-3060</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P186(教024)</p> <p>【事業の概要】 本事業は、文部科学省指定人権教育研究指定校事業の再委託事業である。人権意識を培うための学校教育の在り方について、指定校による実践的な研究を行う。</p> <p>【事業の成果】 研究指定校の授業公開や研究成果の共有により、研究校以外の学校の取組の参考とした。 平成30年度 久松小・世紀小・宮ノ下小・東中・高草中 739千円 令和元年度 富桑小・宮ノ下小・東中・高草中・中ノ郷中 675千円 令和2年度 事業中止のため実施なし 文部科学省委託事業(鳥取県教育委員会への委託)として実施</p> <p>【今後の課題・方向性】 県外講師を積極的に招聘し、学校の実態に合わせた研究を進め、その実践成果を広く市内小中学校へも公開していく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	人権教育研究指定校数		150%	250%	250%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了	文部科学省指定「人権教育研究指定校事業」が中止となったため。
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	文部科学省指定「人権教育研究指定校事業」が中止となったため。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>今後も希望校を募り、学校における人権教育を推進する。</small>		

事務事業評価シート

事務事業コード	009702	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	学校人権教育推進事業(いじめ防止教育)		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 実施の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	04	互いの人権を尊重する心豊かな社会づくり		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	1401	人権擁護の推進と人権意識の醸成			
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	その他
	「人権が尊重されている」と思う市民の割合(H26年度:36.7%)		0%	50%	運営方法	直営
	企業研修派遣研修		210件	210件	会計区分	一般会計
	小地域懇談会参加者数		8,200人	9,000人		
予算	予算事業名	人権教育推進費(いじめ防止教育推進事業)			予算事業コード	01-09-04-03-05-36

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	全小・中・義務教育学校、保護者
意図 (どのような状態 にするために)	いじめを許さない環境づくりのためのさまざまな手法を研修し、学級経営や人間関係づくりの実践に生かすことを目的とする。
手段 (どうするか)	いじめ防止教育プログラムを基にしたいじめ防止研修会の開催。 全保護者に啓発リーフレットを配布。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度		
		いじめ防止研修会の開催と「鳥取市Smileプロジェクト」の実施	いじめ防止研修会の開催と「鳥取市Smileプロジェクト」の実施	いじめ防止研修会の開催と「鳥取市Smileプロジェクト」の実施	いじめ防止研修会の開催と「鳥取市Smileプロジェクト」の実施	いじめ防止研修会の開催と「鳥取市Smileプロジェクト」の実施		
年度別実績	「鳥取市Smileプロジェクト」として「鳥取市Smile月間」「小中学生Smileサミット」等を実施した。	「鳥取市Smileプロジェクト」として「鳥取市Smile月間」「小中学生Smileサミット」等を実施した。	「鳥取市Smileプロジェクト」として「鳥取市Smile月間」「小中学生Smileサミット」等を実施した。	「鳥取市Smileプロジェクト」として「鳥取市Smile月間」「小中学生Smileサミット」等を実施した。	「鳥取市Smileプロジェクト」として「鳥取市Smile月間」を実施した。「中学生からのSmileメッセージ」を作成し、ポスターにして配布した。			
	事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
事業費	事業費(A+B)		7,565	7,514	7,720	7,382	7,280	
	直接経費 A		346	195	477	192	209	
	直接経費の財源内訳	国・県		0	0	0	0	0
		地方債		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
一般財源		346	195	477	192	209		
人件費 B		7,219	7,319	7,243	7,190	7,071		
職員数の内訳	正規職員		1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
	嘱託職員		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	いじめ防止教職員研修の実施回数	回	目標	0
	(指標の説明)		実績	0	1	1	1	1
2	(指標の説明)	目標		0	0	0	0	0
		実績		0	0	0	0	0
3	(指標の説明)	目標		0	0	0	0	0
		実績		0	0	0	0	0

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】児童生徒支援係 0857-25-3060</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P186(教024)</p> <p>【事業の概要】 学校現場で起こるいじめ問題について、学校教育関係者すべてが適切に対応するため、いじめ防止教育の効果的な取組について検討し、資料や研修を提供することによって学校現場を支援する。</p> <p>【事業の成果】 いじめ防止教育プログラムをもとにしたいじめ防止研修会の実施を行った。また、「鳥取市Smileプロジェクト」として、「鳥取市Smile月間」、「中学生からのSmileメッセージ」を実施し、いじめ防止のための取組や啓発を行った。 平成30年度 477千円 令和元年度 192千円 令和2年度 209千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 「鳥取市Smileプロジェクト」を継続して実施し、学校だけでなく、保護者や市民にいじめ防止の取組を周知・啓発していく必要がある。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標 達成 率	1	いじめ防止教職員研修の実施回数		100%	100%	100%	100%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	いじめの未然防止と早期対応のための継続的な事業の展開が必要である。	

事務事業評価シート

事務事業コード	009703	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	学校人権教育推進事業(携帯インターネット教育啓発)		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	04	互いの人権を尊重する心豊かな社会づくり		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	1401	人権擁護の推進と人権意識の醸成			
目標の 実施の	目標の種類別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「人権が尊重されている」と思う市民の割合(H26年度:36.7%)		0%	50%	運営方法	直営
	企業研修派遣研修		210件	210件	会計区分	一般会計
	小地域懇談会参加者数		8,200人	9,000人		
予算	予算事業名	人権教育推進費(携帯インターネット教育啓発推進事業)			予算事業コード	01-09-04-03-05-37

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	教職員、保護者、児童生徒の研修を実施する際、専門家を派遣するための謝金補助を行う。
意図 (どのような状態にするために)	小・中・義務教育学校でスマートフォン、ゲーム機等の使い方やマナーを啓発教育し、適正な使用やインターネット上でのマナーを身につける。
手段 (どうするか)	携帯インターネット教育啓発推進事業を実施する際の経費は、講師謝金補助として、各小・中・義務教育学校に10,000円を配分する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		教職員、保護者、児童生徒の研修を実施する際、専門家を派遣するための謝金補助を行う。	教職員、保護者、児童生徒の研修を実施する際、専門家を派遣するための謝金補助を行う。	教職員、保護者、児童生徒の研修を実施する際、専門家を派遣するための謝金補助を行う。	教職員、保護者、児童生徒の研修を実施する際、専門家を派遣するための謝金補助を行う。	教職員、保護者、児童生徒の研修を実施する際、専門家を派遣するための謝金補助を行う。	
年度別実績	教職員、保護者、児童生徒の研修を実施する際、専門家を派遣するための謝金補助を行った。	教職員、保護者、児童生徒の研修を実施する際、専門家を派遣するための謝金補助を行った。	教職員、保護者、児童生徒の研修を実施する際、専門家を派遣するための謝金補助を行った。	教職員、保護者、児童生徒の研修を実施する際、専門家を派遣するための謝金補助を行った。	教職員、保護者、児童生徒の研修を実施する際、専門家を派遣するための謝金補助を行った。		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	7,449	7,589	7,483	7,380	7,281	
	直接経費 A	230	270	240	190	210	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	230	270	240	190	210	
人件費 B	7,219	7,319	7,243	7,190	7,071		
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	専門家による講演回数	回	目標	30
	(指標の説明)		実績	23	27	24	19	21
2	(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	
3	(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】児童生徒支援係 0857-25-3060</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P186(教024)</p> <p>【事業の概要】 スマートフォンやインターネット機能付きゲーム機等の普及により児童生徒の生活習慣の乱れやネット被害、SNSによるトラブルなど情報化に伴う問題やインターネットを通じて行われるいじめ問題に対し、防止や効果的な対処について啓発を行う。</p> <p>【事業の成果】 児童生徒及び保護者、職員を対象に情報モラルに関する専門家による授業や講演を行った。 平成30年度 240千円 令和元年度 190千円 令和2年度 210千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 ネット被害やSNSによるトラブルやいじめなどの問題は増加傾向であり、内容も複雑化しているため、事業を継続し、保護者への啓発にもつなげる必要がある。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	専門家による講演回数	77%	90%	80%	63%	70%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>新型コロナウイルス感染症に係る対応により、予定していた研修が中止になり、実施回数が減ったため。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>スマートフォン等の普及により、児童生徒がトラブルに巻き込まれる行為やいじめ等につながる行為を未然に防ぐ取組となっている。今後もその必要性は高く、児童生徒への授業だけでなく、教職員や保護者向けの研修希望がさらに見込まれる。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	009800	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	人権福祉センター地域福祉事業		所属名	総務部人権政策局 人権推進課

1. 基本情報

位置づけの 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	04	互いの人権を尊重する心豊かな社会づくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	1401	人権擁護の推進と人権意識の醸成				
施策の 目標の	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「人権が尊重されている」と思う市民の割合(H26年度:36.7%)		0%	50%	運営方法	直営
	企業研修派遣研修		210件	210件	会計区分	一般会計
	小地域懇談会参加者数		8,200人	9,000人		
予算	予算事業名	地域福祉事業費		予算事業コード	01-03-01-15-05-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	生活上の課題を抱え社会的援護が必要な市民等
意図 (どのような状態にするために)	地域における生活上の様々な課題の解決を図るため、地域の実情に応じて地域福祉事業を実施する。
手段 (どうするのか)	高齢者や障がい者等を対象に、日常生活訓練、社会適応訓練、創作・軽作業、介護技術指導、更生相談等を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		日常生活訓練 社会適応訓練 創作・軽作業 介護技術指導 その他	日常生活訓練 社会適応訓練 創作・軽作業 介護技術指導 その他	日常生活訓練 社会適応訓練 創作・軽作業 介護技術指導 その他	日常生活訓練 社会適応訓練 創作・軽作業 介護技術指導 その他	日常生活訓練 社会適応訓練 創作・軽作業 介護技術指導 その他	日常生活訓練 社会適応訓練 創作・軽作業 介護技術指導 その他
年度別実績	日常生活訓練171回 社会適応訓練122回 創作・軽作業105回 介護技術指導34回 その他 209回 合計 641回	日常生活訓練143回 社会適応訓練86回 創作・軽作業118回 介護技術指導12回 その他 240回 合計 599回	日常生活訓練63回 社会適応訓練103回 創作・軽作業75回 介護技術指導28回 その他 177回 合計 446回	日常生活訓練70回 社会適応訓練55回 創作・軽作業61回 介護技術指導52回 その他 168回 合計 406回	日常生活訓練79回 社会適応訓練79回 創作・軽作業57回 介護技術指導44回 その他 71回 合計 330回		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	19,356	18,953	19,144	18,740	22,766	
	直接経費 A	3,356	3,097	2,776	2,556	2,486	
	直接経費の財源内訳	国・県	2,524	2,325	1,642	1,587	1,516
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	832	772	1,134	969	970		
人件費 B	16,000	15,856	16,368	16,184	20,280		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	各人権福祉センターにおいて実施した教室・講座等の参加数	人	目標	10100
	(指標の説明)		実績	8093	5967	6450	5921	4542
2			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0
3			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】中央人権福祉センター 0857-24-8241 【10次総の施策体系】1401 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P14(人002)</p> <p>【事業の概要】 隣保館運営事業として各人権福祉センターにおいて、高齢者及び障がい者等を対象に隣保館デイサービス事業を行うことにより、参加者の自立を助長し生きがいを高めるとともに、地域における様々な生活上の問題に対応し、人権課題の速やかな解決を図る。 隣保館デイサービス事業の内容 日常生活訓練(体操教室など) 社会適応訓練(手話教室など) 創作・軽作業(陶芸教室など) 介護技術指導(家族介護講座など) その他(野菜づくり講座など)</p> <p>【事業の成果】 生活上の課題を抱え社会的援護が必要な高齢者及び障がい者等を対象に、隣保館デイサービス事業を実施し、参加者の自立や生きがいを高める活動を図った。 令和2年度隣保館デイサービス事業実施回数・・・合計330回 参加人数4,542人 日常生活訓練・・・79回 社会適応訓練・・・79回 創作・軽作業・・・57回 介護技術指導・・・44回 その他・・・71回 平成30年度 2,776千円 令和元年度 2,556千円 令和2年度 2,486千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 引き続き、隣保館デイサービス事業を実施し、地域における様々な生活上の課題解決に向けて対応していく。とりわけ、人権福祉センターの基幹的事业である福祉の充実・強化を図っていく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	各人権福祉センターにおいて実施した教室・講座等の参加数	80%	59%	64%	59%	45%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	各隣保館デイサービス事業を実施し、参加者の地域における様々な生活事情の問題解決に向けて対応することができた。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部事業を中止したため減少した。対象者のニーズを検討し参加者の増加に努めていきたい。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>緊急事態宣言終了後は、コロナ対策に努め感染予防をとり、かつコロナシグナル等を見極め適宜事業を実施した。様々な生活課題を抱える人に対し、アウトリーチによる相談支援の活動を展開し、社会的孤立をしている人に社会参画を促す各活動を行っている。事業の計画にあたっては各センター事業の標準化を図りながらも、各地域が抱える個別の課題に応じた内容となるよう努めていく。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	009900	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	人権福祉センター継続的相談援助事業		所属名	総務部人権政策局 人権推進課

1. 基本情報

位置づけの 総合計画の	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	04	互いの人権を尊重する心豊かな社会づくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	1401	人権擁護の推進と人権意識の醸成				
施策の 目標の	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「人権が尊重されている」と思う市民の割合(H26年度:36.7%)		0%	50%	運営方法	直営
	企業研修派遣研修		210件	210件	会計区分	一般会計
	小地域懇談会参加者数		8,200人	9,000人		
予算	予算事業名	継続的相談援助事業費		予算事業コード	01-03-01-15-07-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	生活上の課題を抱え社会的援護が必要な市民等
意図 (どのような状態 にするために)	包括的・個別的・継続的な相談活動及び支援活動を行うことにより、相談事業の効果的な推進を図っていく。
手段 (どうするのか)	人権や生活上の相談に応じ適切な指導・助言を行い、必要があれば、専門機関（弁護士、カウンセラー）の紹介を行うなどの支援を行う。さらに、長期的かつ継続的な指導・助言を必要とする相談者を支援するために、支 方策検討会等を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
内容	年度別計画	カウンセラー相談 弁護士相談 学習支援	カウンセラー相談 弁護士相談 学習支援	カウンセラー相談 弁護士相談	カウンセラー相談 弁護士相談	カウンセラー相談 弁護士相談	
	年度別実績	カウンセラー相談 28回 弁護士相談 13回 学習支援 159回	カウンセラー相談 28回 弁護士相談 9回 学習支援 196回	カウンセラー相談 29回 弁護士相談 11回	カウンセラー相談 35回 弁護士相談 13回	カウンセラー相談 36回 弁護士相談 12回	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	9,446	9,469	8,498	8,363	10,470	
	直接経費 A	1,446	1,541	314	271	330	
	直接経費の財 源内訳	国・県	1,092	1,320	254	206	206
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	354	221	60	65	124		
人件費 B	8,000	7,928	8,184	8,092	10,140		
職員数の 内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
活動 指標	1	各人権福祉センター相談件数	件	目標	1550	1550	1550	1550	1550
				実績	1236	1360	1952	1853	2481
	(指標の説明)								
2		専門機関相談会の開催	件	目標	0	0	36	36	36
				実績	0	0	36	36	36
	(指標の説明) 毎月3回開催								
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】中央人権福祉センター 0857-24-8241</p> <p>【10次総の施策体系】1401</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】 地域で生活している住民の中で、心身の障がい・不安、社会的排除や摩擦、社会的孤立や孤独の様々な生活上の問題に対応し、人権問題の速やかな解決を図る。</p> <p>【事業の成果】 人権福祉センター利用者への情報提供や訪問活動等(アウトリーチ)により、生活上の課題を抱え社会的擁護が必要な対象者の発見・支援とともに、専門家(弁護士、カウンセラー)につなぐなどのコーディネートを行うことができた。</p> <p>【今後の課題・方向性】 引き続き、相談活動を実施し、生活上の課題解決に向けて対応していく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	各人権福祉センター相談件数	80%	88%	126%	120%	160%
	2	専門機関相談会の開催			100%	100%	100%
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	<p>専門機関相談会の開催や専門家による相談により、相談者のニーズに応じた継続的・包括的な相談支援を行った。</p>
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>計画どおり専門機関相談会を開催することができた。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>人権啓発や地域活動の重要な柱として、様々な支援事業を継続して実施する。また、必要な場合は専門家(弁護士、カウンセラー)に引き継ぐなど適切なコーディネートを継続して実施していく。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	010000	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	人権福祉センター地域交流促進事業		所属名	総務部人権政策局 人権推進課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	04	互いの人権を尊重する心豊かな社会づくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	1401	人権擁護の推進と人権意識の醸成				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「人権が尊重されている」と思う市民の割合(H26年度:36.7%)		0%	50%	運営方法	直営
	企業研修派遣研修		210件	210件	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	地域交流促進事業費		予算事業コード	01-03-01-15-06-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民
意図 (どのような状態にするために)	創意工夫をした人権講座等を継続して開催し、地域住民相互の理解と交流を一層促進する。
手段 (どうするのか)	地域住民のニーズを的確に把握し、より効果的な地域交流が図られる講座を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		人権と福祉のまちづくり講座 地域交流促進講座	人権と福祉のまちづくり講座 地域交流促進講座	人権と福祉のまちづくり講座 地域交流促進講座	人権と福祉のまちづくり講座 地域交流促進講座	人権と福祉のまちづくり講座 地域交流促進講座
年度別実績	人権と福祉のまちづくり講座 64回 地域交流促進講座 449回	人権と福祉のまちづくり講座 120回 地域交流促進講座 275回	人権と福祉のまちづくり講座 53回 地域交流促進講座 214回	人権と福祉のまちづくり講座 60回 地域交流促進講座 194回	人権と福祉のまちづくり講座 52回 地域交流促進講座 195回	
	事業費	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
区分	18,771	18,497	18,988	18,512	22,438	
事業費(A+B)	2,771	2,641	2,620	2,328	2,158	
直接経費 A	2,081	1,982	1,322	1,260	1,257	
国・県	0	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	0	
その他	690	659	1,298	1,068	901	
一般財源	16,000	15,856	16,368	16,184	20,280	
人件費 B	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
正規職員	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00	
嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
臨時職員						

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	地域交流促進講座の参加者数	人	目標	13350
			実績	10656	7231	5839	5218	4024
2	(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	
3	(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】中央人権福祉センター 0857-24-8241</p> <p>【10次総の施策体系】1401</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P15(人003)</p> <p>【事業の概要】 地域の実情に即した創意工夫のある講座を継続して実施することにより、地域住民相互の理解と交流を一層促進すると共に、人権啓発の拠点としての人権福祉センターの役割を果たし、人権問題の速やかな解決を図る。</p> <p>【事業の成果】 人権講座等の事業実施回数 247回 地域住民のニーズの把握に努め、効果的な地域交流を図ることができる講座を実施することができた。</p> <p>平成30年度 2,620千円 令和元年度 2,328千円 令和2年度 2,158千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 引き続き、創意工夫した講座等を実施し、地域住民相互の理解と交流の一層の推進を図っていく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	地域交流促進講座の参加者数	80%	54%	44%	39%	30%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	地域住民相互の理解と交流により、人権問題の速やかな解決に繋げることができた。
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	相談支援事業の強化のため、事業を見直しを行った結果、講座回数が減少したことに加え、コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、一部事業を中止したため参加者数が減少した。対象者のニーズを検討し、内容の充実を図るとともに、参加者の増加に努めていきたい

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>関係機関と連携しながら、地域課題の認識に基づいた各種の講座や地域交流の促進につながる教室などの事業を実施することで、地域住民の相互交流や相互理解の推進を図っていく。</small>		

事務事業評価シート

事務事業コード	035400	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	人権福祉センター相談事業		所属名	総務部人権政策局 人権推進課

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	04	互いの人権を尊重する心豊かな社会づくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	1401	人権擁護の推進と人権意識の醸成				
施策の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	その他
	「人権が尊重されている」と思う市民の割合(H26年度:36.7%)		0%	50%	運営方法	直営
	企業研修派遣研修		210件	210件	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	人権福祉センター管理費		予算事業コード	01-03-01-15-03-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	生活上の課題を抱え社会的援護が必要な市民等
意図 (どのような状態 にするために)	対象者の早期発見・支援を行うとともに、適切に専門機関・サービス等につなぐなど、人権啓発福祉活動の拠点として相談事業の拡充を図る。
手段 (どうするのか)	地域や関係機関との連携を図り、困難を抱える人の訪問活動(アウトリーチ)を強化する。また、人権福祉センター来所者への情報提供を積極的に行うなどし、相談事業の拡充を図る。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
内容	年度別計画			相談支援	相談支援	相談支援	
	年度別実績			相談件数 1,952件	相談支援 1,853件	相談支援 2,481件	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	21,364	21,056	21,504	
	直接経費 A	0	0	13,180	12,964	11,364	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	6,000	6,000	5,800
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	446	373	584
	一般財源	0	0	6,734	6,591	4,980	
人件費 B	0	0	8,184	8,092	10,140		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	4.00	4.00	4.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
活動指標	1	新規相談者数の月平均人数	人	目標	0	0	30	30	30	
				実績	0	0	25.2	28	21.3	
	(指標の説明)									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】中央人権福祉センター 0857-24-8241</p> <p>【10次総施策体系】1401</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】 人権啓発福祉活動の拠点として相談事業の拡充を目的に、地域や関係機関と連携し相談体制の整備を図る。 人権福祉センター来所者への積極的な情報提供や生活上の困難を抱える対象者の訪問活動(アウトリーチ)を強化する。</p> <p>【事業の成果】 新規相談者数の月平均 21.3人 人権福祉センター利用者への情報提供や訪問活動等(アウトリーチ)により、生活上の課題を抱え社会的擁護が必要な対象者の発見・支援とともに、適切に専門機関につなぐなどコーディネートを行うことができた。</p> <p>【今後の課題・方向性】 引き続き、各地域の人権福祉センターと連携を取りながら相談活動を実施し、新たな対象者の発見・支援に取り組んでいく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	新規相談者数の月平均人数			84%	93%	71%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>コロナウイルス感染症拡大防止のため、来所が減少した。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>人権啓発や地域活動の重要な柱として重きを置き、様々な相談支援事業を継続して実施していく。中央人権福祉センターと各人権福祉センターが連携を図ることで、一層の機能強化につなげ相談体制の整備を図っていく。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	035500	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	人権福祉センター行動計画の策定事業		所属名	総務部人権政策局 人権推進課

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 実施の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	04	互いの人権を尊重する心豊かな社会づくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	1401	人権擁護の推進と人権意識の醸成				
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「人権が尊重されている」と思う市民の割合(H26年度:36.7%)		0%	50%	運営方法	直営
	企業研修派遣研修		210件	210件	会計区分	
	小地域懇談会参加者数		8,200人	9,000人		
予算	予算事業名				予算事業コード	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	人権福祉センターの職員
意図 (どのような状態 にするために)	地域共生社会を実現するために、人権福祉センターの役割を再認識し事業実施していく。
手段 (どうするのか)	地域福祉に従事する専門家から、人権福祉センターに対してアドバイスをいただき、職員研修をしながら計画を作成する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度 計画(案)作成 職員研修	平成31年度 計画策定、事業実施	令和2年度 計画策定
	年度別実績			計画(案)作成 職員研修 3回	計画(案)作成 職員研修 3回	計画策定
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
	事業費(A+B)	0	0	1,449	1,438	707
	直接経費 A	0	0	0	0	0
	直接経費の財源内訳					
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0	
人件費 B	0	0	1,449	1,438	707	
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.20	0.20	0.10
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		人権福祉センター行動計画策定	式	目標	0	0	0	0	1	
			実績	0	0	0	0	1		
	(指標の説明) 行動計画を策定する									
	2		目標		0	0	0	0	0	
			実績		0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標		0	0	0	0	0		
		実績		0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】中央人権福祉センター 0857-24-8241</p> <p>【10次総の施策体系】1401</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業概要】 鳥取市地域福祉推進計画に沿った事業を実施できるように鳥取市人権福祉センター行動計画を策定した。</p> <p>【事業の成果】 策定にあたりセンター職員を対象とした研修会を3回実施し、センターが地域福祉活動の役割をどのように担えるのか研究した。</p> <p>【今後の課題・方向性】 行動計画に基づき、各人権福祉センターで地域福祉計画に沿った事業を実施していく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標 達成 率	1	人権福祉センター行動計画策定					100%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>今後も、本計画に連動した取組を各人権福祉センターの地域福祉事業として実施していくよう努める。</p>		